

【中小企業振興円卓会議】令和5年度専門部会 事業計画書

活動名	採用戦略アウトリーチ事業	
部会名	ソーシャルリクルーティング推進部会	
部会長・副部会長名	部会長 瀧上 悟	
代表団体名	公益社団法人 松山法人会	
構成メンバー	愛媛県若年者就職支援センター、松山商工会議所、 えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会、えひめ女性活躍推進協議会	
活動テーマ	ええ人育て	
活動項目	「条例の推進活動」および「調査・検証活動」	
活動詳細	現状・課題	就職を機とした市内流出を食い止め、人材を確保し、維持するためには、更なる働き方改革と積極的で効果的な求人プロモーションが求められている。 特に中小零細企業は、現状の雇用情勢の中で、新卒採用を自ら断念している傾向があり、新卒者の情報源であるデジタルツールを利用した求人情報の発信については、その方法や情報の選択に悩みを抱えていることから、大学側に企業を知っていただく機会の創出と求人プロモーションの効果的な手法や学生の感覚等を企業に伝える機会を設定する必要がある。
	活動内容	1. 求人活動のブラッシュアップアウトリーチ支援 ・学生や大学の就職支援担当者、先進企業の採用担当者、専門家等がチームを組み、企業が取り組んでいる（予定も含む）求人活動をブラッシュアップする。 ・支援内容については、学生が就活の際に情報源として最重要視しているSNSやショートムービーの制作を中心に支援を行う。 ○対象企業 支援企業 4社×2回程度 ○支援チーム 1チーム10名以内 1、支援企業の募集、選定 2、学生等の募集 3、チーム結成のためのミーティング 4、企業へのブラッシュアップ支援×2回 ・上記の取組みを行うことで、働き方・休み方改革や社内風土づくり、女性の働きやすい職場づくり等を積極的に取組んできた「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」登録企業を知ってもらう機会を創出する。 2. 学生の職業観を満たす「働きやすい職場づくりを進める優良企業情報を学生に提供 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の活用 (1) 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」：一定の基準を満たした「働きやすい職場づくりを進める優良企業（ワークライフバランス優良企業）のみが参加できるグループ (2) えひめ男女共同参画推進大学等連絡協議会に協力依頼し、各大学短大からの要請依頼を受け、登録企業に情報発信する。 * 想定される大学からの要請：「キャリア教育で先輩社員を呼びたい」「松山の企業情報をまとめたので企業情報が欲しい」「授業の中で会社訪問したい」など
	事業期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
	事業費	1, 478, 400 円
活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の具体的な数値目標の設定をお願いします。	1. 求人活動のブラッシュアップアウトリーチ支援 4社 2. 「働きやすい職場づくり推進優良企業Bank」の登録企業数 10%増	

【中小企業振興円卓会議】令和5年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
松山市補助金	1,450,000 円	
法人会負担	28,400 円	
	円	
	円	
合 計	1,478,400 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
人件費	540,000 円	時給900円*5時間*120日
人件費	50,000 円	法定福利費、通勤手当 （雇用保険、労災保険）
報償費	400,000 円	個別支援謝金 4社×2回×6名 全体コーディネーター4名（各社1名） チーム結成のためのミーティング 1回
需用費	24,000 円	コピー・消耗品@2,000*12ヶ月
使用料及び賃借料	256,000 円	パソコンリース、ネットワーク代 事務所費（光熱費込）
使用料及び賃借料	50,000 円	チーム結成のためのミーティング等
役務費	24,000 円	郵便料、電話料（@2,000*12ヶ月）
消費税	134,400 円	
合 計	1,478,400 円	

【中小企業振興円卓会議】令和5年度専門部会 事業計画書

活動名	学んで実践、頼られマネージャー（センパイ）になろう（中堅社員のリスキリング）
部会名	リスキリング部会
部会長・副部会長名	部会長 堀田 真奈
代表団体名	特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ
構成メンバー	サイボウズ(株)松山オフィス
活動テーマ	ええ人育て
活動項目	「条例の推進活動」および「調査・検証活動」
活動詳細	<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成をしない（お金をかけない）中小企業 ・人材の定着、成長が、企業の成長にも重要 ・若い女性人材が県外に出ていく ・SDGsの目標達成や組織の働き方改革を進めるためには、キーパーソンとなる人の問題解決に資する「問題解決能力」を養う必要性（人材のリスキルの機会の提供） ・働き方改革は、手段である。また、その細分化された方法が「DX」「ジェンダー平等」「コミュニケーション」「制度構築」等であり、その整理が必要。
	<p>対象：企業の中堅社員：個人の成長に ハサマレ世代の学びと実践</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>シン・まつやまワークワク部 ～学んで実践、頼られマネージャー（センパイ）になろう～</p> </div> <p style="text-align: center; background-color: #fff9c4;">対象：企業の中堅社員：個人の成長に ハサマレ世代の学び（リスキリング）と実践</p> <p>目的：1年間で、SDGsの目標達成や組織の問題解決に資する「問題解決能力」を養う。学びから実践へ結果：自分や（自社）を客観的に見る、人を巻き込む力、解決する力が身につく。会社では社内のエンジンとなり、解決に導ける 5年後→どうなってる？ 仲間増えてます、やっています</p> <p><実施内容></p> <p>①月に1回、サイボウズにて、問題解決メソッドにて「問題」と「課題」の整理を行う。</p> <p>②問題出しの際には、テーマを出しておく「DX」「ジェンダー」「コミュニケーション」「上司のマネジメント」など</p> <p>③半年経過で振り返り（9月）、報告会（含む：社会教育プログラムやってみて・LD講座登録してみて）（2月）</p> <p>④実践で学ぶコンテンツも。</p> <p>その1「まちのがっこう社会教育プログラムの作成」（休日子どもカレッジ研修済みかききみ・小笠原向けプログラム） その2「学生たちとの交流：自分ライオンチャート作成」（LD事業：WLB認定スピーカー）</p> <p>⑤6月：社会教育プログラム作成 12月：フェスタ（情報の蓄積・著名な講師ゲストを招く・オンラインで各地とつながる）</p>
	<p>活動内容</p> <div style="text-align: center;"> <p>SDGsの「人」部門</p> <ul style="list-style-type: none"> 人的資本経営 ダイバーシティ(DE&I) ジェンダー・ギャップ ワーク・ライフ・バランス <p>女性活躍 男性育休 健康経営 非差別 倫理・規範 etc</p> <p>上記が更に上向き、好循環に</p> <p>社員の働く意欲・働きがい・エンゲージメント・専門性が高まり、人材採用・離職率・組織活性化などが改善</p> <p>結果、組織業績が高まる。なぜなら</p> <p>左記の課題を解決するためには</p> <p>トップのコミットメント・覚悟と、イクボス 上司を増やすことで、ワークトランスフォーメーション（WX=働き方改革）を加速</p> <p>働き方改革を分類すると</p> <p>上司の意識改革 DX・ICT化 部下の意識改革 制度の改定 リスキリング 組織の改革 etc</p> </div>
	<p>事業期間</p> <p style="text-align: center;">令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 3月31日</p>
<p>事業費</p> <p style="text-align: center;">1,300,000円</p>	
<p>活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の具体的な数値目標の設定をお願いします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シンまつやまワークワク部のグループツールの立ち上げ ・シンまつやまワークワク部参加者募集20名（SDGs推進協議会会員等働きかけ） ・月1回の学びと実践の場（11回） ・企業の中堅社員が、「問題解決能力」が身についたと実感する

【中小企業振興円卓会議】令和5年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	1,300,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	1,300,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
企画管理費	1,000,000 円	企画、運営にかかる人件費や委託費
印刷製本費	100,000 円	チラシ、配付資料
報償費	200,000 円	外部講師招致
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	1,300,000 円	

【中小企業振興円卓会議】令和5年度専門部会 事業計画書

活動名	D X等推進事業
部会名	松山D X勉強会
部会長・副部会長名	桑波田 健
代表団体名	愛媛県中小企業家同友会
構成メンバー	愛媛県中小企業家同友会、愛媛デジタルデータソリューション協会
活動テーマ	ええ会社づくり
活動項目	「条例の推進活動」および「調査・検証活動」
活動詳細	<p>現状・課題</p> <p>令和4年度に愛媛デジタルソリューション協会と連携して開催した「松山D X勉強会」は、参加者も多く、満足度も高いものであり、同時に中小企業におけるD X推進の必要性を再認識させられるものでした。特に第1講～第3講の基礎編は関心が高かったようです。受講をきっかけにD Xに取り組んだ事例も見られます。そこで令和5年度においても、中小企業を中心に、D Xについて知る、連携して実践に向けて取り組む機会を創出したいと考えています。D Xについて、関心の高い層と低い層の二極に分かれているように推測されます。関心の低い企業も呼び込み、かつD Xに取り組む実績を出すこと、最低でも個別相談・マッチングの成果を上げるべく、取り組みます。</p>
	<p>活動内容</p> <p>全体テーマ：D Xで付加価値を高め、変化の波を乗り切ろう！</p> <p>1回目 DXにどのように取組むか？ 2回目以降のオリエンテーション</p> <p>2回目 問題発見と課題設定 サイボウズ式課題解決メソッドで課題を設定する 前半1時間：課題設定セミナー、後半1時間：ワークショップ</p> <p>3回目 課題解決の事例発表と課題ブラッシュアップ 前半1時間：事例発表、後半1時間：課題ブラッシュアップ</p> <p>4回目 個別相談、マッチング</p> <p>5回目 実践事例発表（もしくはセミナー）と中間発表 前半1時間：事例発表、後半1時間：中間発表</p> <p>6回目 最終成果発表 取り組んだ方が発表する</p>
	<p>事業期間</p> <p>令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日</p>
	<p>事業費</p> <p>1,000,000円</p>
<p>活動効果 (想定される調査・検証結果等) ※開催回数・参加人数等の 具体的な数値目標の 設定をお願いします。</p>	<p>勉強会開催回数：年6回 参加企業数：30社以上（目標） 個別相談・マッチング：10社（目標）</p>

【中小企業振興円卓会議】令和5年度専門部会 収支予算書

1. 収入の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
活動費	1,000,000 円	中小企業振興円卓会議（松山市補助金）
	円	
	円	
	円	
合 計	1,000,000 円	

2. 支出の部

区 分	予 算 額	摘要（積算基礎等）
委託費	715,000 円	委託先：愛媛デジタルソリューション協会。 人件費、印刷費、講師関係費、会場費等
活動費	285,000 円	事務担当者の人件費、チラシ郵送費、資料印刷費等
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	1,000,000 円	